

日本ジャズ界を代表するテナーサックス最高峰プレーヤー

# 川嶋哲郎

## TRIO JAZZ LIVE

in 盛岡 2019

熱くエネルギッシュで表現力豊かなサックスプレイの川嶋哲郎が繊細かつダイナミックな演奏の実力派ドラマー菅原高志と新人气鋭の若手ベーシスト富樫マコトとの感動と興奮をあたえる白熱ライブ！



川嶋哲郎 Tenor Sax



菅原高志 Drums



富樫マコト Bass

# 5月30日(木)

会場 もりおか町家物語館  
浜藤ホール

盛岡市鉾屋町10-8 ☎019-654-2911

開場 18:30 / 開演 19:00

前売券 4,500円 (全席自由 1ドリンク付)

(当日はプラス500円)

■主催 川嶋哲郎トリオ ジャズライブ実行委員会 ■予約・問合せ 長沢 ☎090-5599-2733



# PROFILE

## 川嶋哲郎 (TenorSax・Flute)

1966年富山県生まれ。6歳からピアノを始め、12歳でトランペット、16才歳でテナーサクソに転向。岡山理科大学在学中に独学でジャズを始める。卒業後は一旦就職したが音楽への情熱を抑え難く1993年プロ入り、大坂昌彦 (ds) = 原朋直 (tp) 5、に加わり本格的な音楽活動に入った。益田幹夫 (p)、向井滋春 (tb)、日野皓正 (tp) 等多数のグループ、プロジェクト、レコーディングに参加、テナー奏者ジャズミュージシャンとしての地位を築く。

近年では自己のカルテット、東京銘曲堂 (TMD)、森山威男グループの他、ライフワークのソロ、デュオライブ等も精力的に実施。2009年ニューヨークとボストンで行われたイベントに竹澤悦子 (琴) と共に招待され演奏。現在休刊のスイングジャーナル誌の人気投票テナーサクソ部門では1999年から2009年までNo. 1を独走。Jazz Life 誌に「気ままにジャズエチュード」を連載中。ヤマハミュージックアベニュー、石森楽器店での講座も行う。

2009年度より洗足学園音楽大学講師。

2010年にはジャズと日本文化の象徴である俳句を統合した「Jazz 句会」に出演、ジャズプレイヤーの枠を大きく超え、日本人即興音楽家として独特な活動を続けている。

名実共に日本ジャズ界を代表する奏者で海外アーティストからも高く評価され共演を望む声も多い。

## 菅原高志 (Drums)

1976年福岡県生まれ。12歳からドラムを学び始める。

1996年よりプロのミュージシャンとして福岡を中心に全国各地で演奏活動を行う。

2001年、2002年と川嶋哲郎との西日本ツアーに初参加。2003年多田誠司のツアーに参加。2007年渡米しN. Y. のジャズのミュージシャンと親交を持ちN. Y. のジャズクラブ「Cachcab」にてナット・リーヴス (b) と共演。この年よりランディ・ジョンストンとのスプリング・ツアーを3回行い好評を得る。ケニー・ワシントンに師事。

2009年より活動の中心を東京に移し、演奏活動を都内及び全国各地で行っている。同年、川嶋哲郎をフューチャリングした初のリーダーアルバム「ディパーチャー」を発表。

2010年には川嶋哲郎によるアルバム「ディズオブバード」に参加。

ドラムを「奏でる」というにふさわしい繊細かつダイナミックな演奏スタイルを信条とし、日々プレイし研鑽を積んでいる。

これまでの主な共演者は、山下洋輔 (p)、市川秀男 (p)、川嶋哲郎 (ts)、多田誠司 (as)、岡崎好朗 (tp)、松島啓之 (tp)、村田浩 (tp)、大森明 (as)、池田篤 (as)、MALTA (as)、TOKU (vo・flh) など。

## 富樫マコト (Bass)

2001年札幌で生まれる。

現在東京を拠点にベーシストとして活動中。

2017年札幌 city jazz コンテストにて最年少バンドで優勝。

江藤良人 (ds)、本田珠也 (ds)、他と共演。